

# 坂井市特産で記念品

## 越前織コースター、五月ヶ瀬

### 選手らに魅力アピール

坂井市は、福井国体で市内開催競技に参加する選手、役員ら関係者への記念品として、市特産の越前織

の「コースター」と「はぴりゅうマスケット」、市内で製造する焼き菓子「五月

ヶ瀬」を贈る。オリジナル品を贈ることで市の魅力を全国にアピールしていく。

越前織は京都西陣の流れをくむ細幅織物で、きめ細かな風合いと豊かな表現力が特長で、技術の高さを知ってもらおうと採用した。

コースターは直径九センチの丸型で、坂井市の地図を背景に国体マスケットキャラクター「はぴりゅう」を織り込んだ。マスケットは縦七センチで、携帯電話のストラップと画面クリーナーになっている。

市内では正式競技のサッカーと少年男女バレーボール、デモンストレーション競技のバトン、ドッチビーなど五競技が行われる。コースターとマスケットはともに七千個用意し各競技の選手、監督、スタッフら全員に、五月ヶ瀬は三千枚用意し正式競技の参加者に一枚ずつ、いづれも関係者向けの関連資料袋（縦五十センチ、横四十センチ）に入れて配る。

市国体推進課の担当者は「再び訪れたいと思ってもらえるように作った。毎日使って坂井市を思い出してもらえたら」と期待を込めた。（中田誠司）

坂井市内での開催競技の関係者に配布する記念品。（左から）越前織で作ったはぴりゅうのマスケット、コースターとそのセット＝坂井市の三国運動公園健康管理センターで

